令和５年度　測量体験学習事業掲載記事（５月２６日　建設タイムス）

令和５年５月24日（水）　京都市立西野小学校（山科区）

(3) 2023年(令和5年) 5月26日 (金) 第8002号　日刊 建設タイムズ　平成2年3月9日 第三種郵便物認可

山城谷浄水場ろ過材入替工
水道会計で工事費計上
23年度6月補正予算案を公表

南山城村

南山城村はこのほど、2023年度6月補正予算案などを公表した。一般会計補正額は4292万3千円を計上している。

補正予算案は、住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金や、低所得者の子育て世帯に対する生活支援特別給付金などの事業費を計上している。

簡易水道特別会計では、山城谷浄水場1号急速ろ過機ろ材入替工事費として460万9千円を計上している。

山城谷浄水場の1号急速ろ過機は、設置から25年以上が経過し、ろ材は前回の入れ替えから10年が経っている。23年3月30日の保守点検作業で内部配管の劣化を確認し、ろ材が流出しているため、内部配管の修繕工事とろ材の入替工事を行う。

22年度一般会計繰越明許費では、防災・安全社会資本整備交付金事業（道路）で2106万7千円、道路メンテナンス事業732万1千円、河川整備事業250万円、簡易水道特別会計の簡易水道維持管理事業2027万5千円を繰り越している。

23年度「測量の日」記念事業
西野小児童が測量体験
校庭に実寸大の平等院鳳凰堂描く

府測量設計業協会

子供たちに測量への関心を高めてもらおうと、（一社）京都府測量設計業協会（菊地博之会長）は24日、山科区の西野小学校で2023年度測量体験学習を実施した。

同校グラウンドで6年生の児童約60人が6班に分かれて、様々な測量機器を体験するコーナーを順番に回り、測量の楽しさを肌で感じた。また、会員が実寸大の平等院鳳凰堂（国宝）の絵を白線で描き、児童とともに記念撮影した。

体験学習は、京測協が6月3日の「測量の日」を記念する事業として企画。国土地理院や京都府が後援し、今年で13回目を迎えた。新型コロナ禍のため20年から中止が続いていたが、4年ぶりの開催となり、会員約80人が講師を務めた。

午前9時前、体育館に集まった児童を前に菊地会長は「測量とはどのようなことを行っているのか、みなさんにゲームのような形式で体験してもらいます。ぜひ楽しみながら学んでもらえれば」と挨拶。

同校の山田雅彦校長は「今年一年、京都でこのような体験ができるのは西野小のみなさんだけです。測量技術が建築など他の仕事にどのように関係しているのか、学んでください」と呼びかけた。府江亨所長は「本日はプロの方々に教えてもらいながら測量に触れる貴重な体験をしてもらいます。仲良く楽しみながら測量の大切さを学んでもらえれば」と述べた。

続いて国土地理院近畿地方測量部の清水乙彦次長が「測量と地図のお話」と題して講演。測量の歴史や地図の種類、測量技術が世の中でどのように使われているかを説明した。

体験学習は、『私たちの学校は地球のどこコーナー』『距離（ボール投げ）コーナー』『歩測コーナー』『高さトランシットコーナー』『高さレベルコーナー』『GPSで地球に描くコーナー』『平等院鳳凰堂（国宝）を描くコーナー』などの8つのプログラムが用意された。

『私たちの学校は地球のどこコーナー』では、京測協が寄贈した学校の位置を示す標柱の除幕式を行い記念撮影。

『歩測コーナー』と『距離（ボール投げ）コーナー』では、児童が20mの距離を何歩歩いたかを数えて一歩の幅を割り出したあと、ボールを投げて落ちた場所までを測り、歩測と測量機器測定とでどれぐらいの誤差が出るかを学んだ。

『高さトランシットコーナー』では、校舎の屋上などの高さが目で見るのと、測量機器を使った場合とでどれだけ違うかを体験。

『高さレベルコーナー』では、水平ラインを見る専用機器の測量機器（レベル）を見て高さを測る体験を行った。

『GPSで地球に描くコーナー』では、GPSを携帯しながら歩き、その軌道をパソコンに復元して絵を描く作業を実施した。

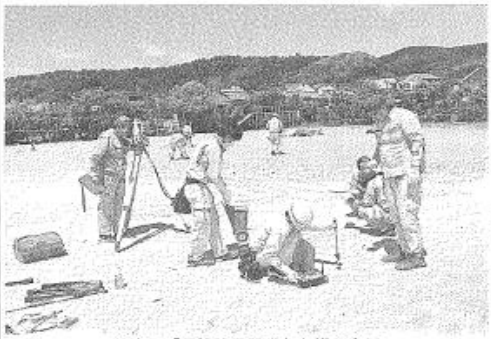
『平等院鳳凰堂（国宝）を描くコーナー』では、会員が測量機器を操作して実寸大の鳳凰堂をグラウンドに描き、児童がその様子を見学。完成

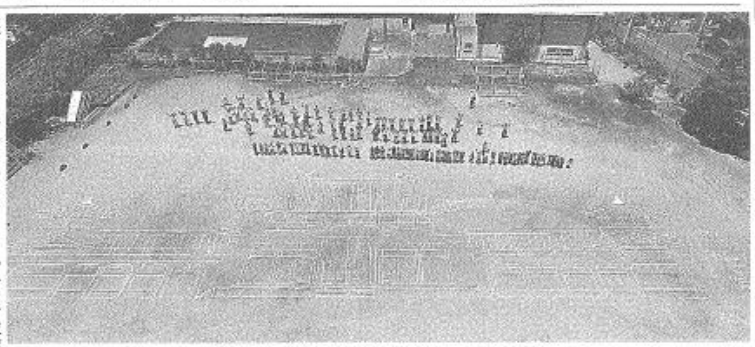
測量を学ぶ6年生

挨拶する菊地会長

測量機器を体験する児童たち

標柱除幕式の後、記念撮影


校庭に「平等院鳳凰堂」を描く会員


完成した「平等院鳳凰堂」とともに記念撮影